

LGBTが働きやすい職場とは

「社内に必ずいる」意識を 日本マイクロソフト業務執行役員 儲俊祥氏

2016/4/3 3:30 | 日本経済新聞 朝刊

同性愛者や、生まれつき体と心の性が一致しない人などLGBT(性的少数者)に対する企業の対応が注目を集めている。不用意な言動を避け、働きやすい職場を築くにはどうすべきか。同性愛者と公言している日本マイクロソフトの儲俊祥・業務執行役員と、LGBTの支援に取り組むNPO法人「虹色ダイバーシティ」の村木真紀代表に聞いた。

——LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーの頭文字)の人が働く大変さはどこにあるのでしょうか。

「職場など自分を隠さなければいけない場面が増える。チームワークを養うためには仕事以外でのつながりが大切だが、恋愛の話ができないとお酒の席にも行きづらい」

「特に日本は自分がLGBTだとカミングアウト(公言)しにくい。米国は1990年代後半から、ニューヨークやロサンゼルスといった大都市圏を中心に理解が広まり、職場の対応も柔軟になった。それに比べて、日本企業の取り組みはまだ遅れている」

——特に遅れているのは。

「存在自体に気づいていないことだ。『うちの会社にLGBTはいないだろう』と考える人が多いことに驚く。企業の雰囲気がある程度、余計に公言しづらい。自分は会社では同性愛者だと公にしてきたが、取引先の理解が進んでおらず苦労した。営業職だったころ、商談でお酒の席に行くことがあったが、どうしてもプライベートなことを聞かれる。参加して嘘をつくのは気持ちよくない。かといって参加しないと『つきあい悪いよね』と言われてしまう」

——公言する際のハードルはどう乗り越えたのですか。

「初めてカミングアウトしたのは米国に留学していた80年代半ばだ。エイズが広がり、LGBTがバッシングを受けていた。自分の恋愛感情を取るか、社会的な立場を取るか選ばなければならず打ちのめされていた。学校の先生に相談したところ『打ち明けて嫌われるなら、そんな人とはもともと相性が合わないのでは』と言われて吹っ切れた」

「その後いくつかの会社に勤めたが、入社の際にはカミングアウトせず、タイミングを見てチームのメンバーに話すようにしていた。カミングアウトするとメンバーと誠実につきあえるようになり、非常に働きやすくなった。プライベートが分かった方が信頼関係も築ける」



——マイクロソフトの取り組みはどう評価しますか。

「ダイバーシティ(多様性)が企業文化に根付いている。保険でカバーされない性別適合手術を全額負担する制度は20年以上前からある。LGBT社員の社内コミュニティもある。欧米では政治への働きかけも積極的だ。世界経済フォーラム(ダボス会議)でもLGBTの問題が取り上げられたが、米本社の幹部が積極的に議論を展開した」

「ただ、日本法人は米本社に追いついていない部分もある。LGBT社員に対応したメンタリングはその1つで、日本も導入を検討中だ。女性社員に女性メンターをつけるように、LGBT社員にはLGBTのメンターをつける」

——渋谷区が2015年11月から同性カップル向けの証明書を発行するなど、日本も状況が変わってきています。

「第一歩として素晴らしいと思う。ただ、当然ながらそこに住んでないと適用されない。国全体が変化しないといけない。個人的にも住んでいる自治体と話をしているが、なかなか進まない。夫婦別姓の問題を見ても、日本は結婚の定義が古いと感じる」

「私自身、14年に男性パートナーと結婚式を挙げたが、日本はまだ受け入れ環境が整っていないと感じ、米カリフォルニア州で挙式した。加州では同性婚が特別視されることはない。欧米が進んでいるのは、社会のしくみが整っているからだ。日本も企業では理解が広がりつつあるが、行政や制度に縛られている」

——LGBTに対する取り組みは企業の競争力などにも影響しますか。

「LGBTにも優秀な人は多い。人材獲得には受け入れ体制が必要だ。実際、マイクロソフトの取り組みがLGBTの方の入社につながったケースがある。働きやすいと聞いていれば、就職活動で選択肢として選んでもらえる。ダボス会議でLGBTが取り上げられたのも当事者が潜在能力を発揮できないことによる経済的損失が大きいからだ」

「女性や人種など、目に見えるダイバーシティを考えるだけでは不十分だ。いい意見を持っていても『自分は他と違うから言えない』という雰囲気のある企業は競争社会で勝ち残れない。互いに尊敬し合って意見を出し合ってこそいいアイデアが出る。LGBTはその突破口として分かりやすいのではないかと。人口の7%以上とも言われる当事者が、現に困っているのだから」

(聞き手は龍元秀明)

ショーン・チュウ 米映画会社などを経て07年に日本マイクロソフト入社。14年に同性のパートナーと「結婚」。台湾出身、49歳。